



Nichu Education 2026.4—2027.3

竹のように、しなやかに強く。
「ONE TEAM Nichu」が描く、
新しい学校と生徒の成長のカタチ。

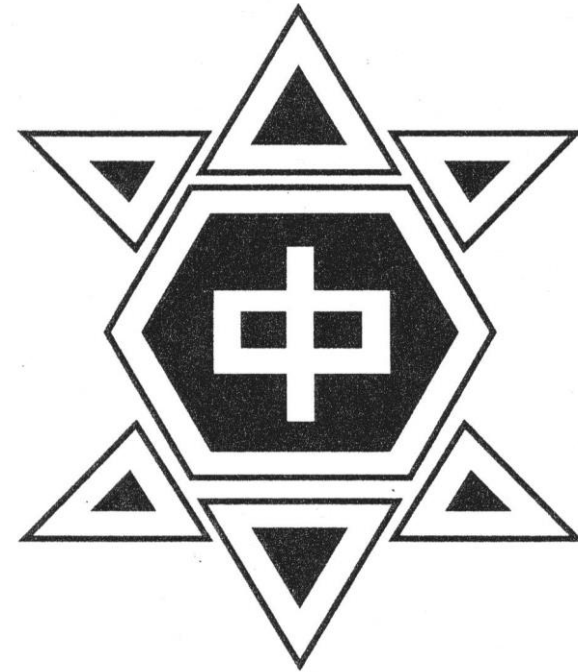
二中オリジナルキャラクター
しろみず丸



しろみず会 2026. 05. 22

東根市立第二中學校

學校教育目標



調和 立志 自律



162の物語が交差する場所



生徒 134名

+



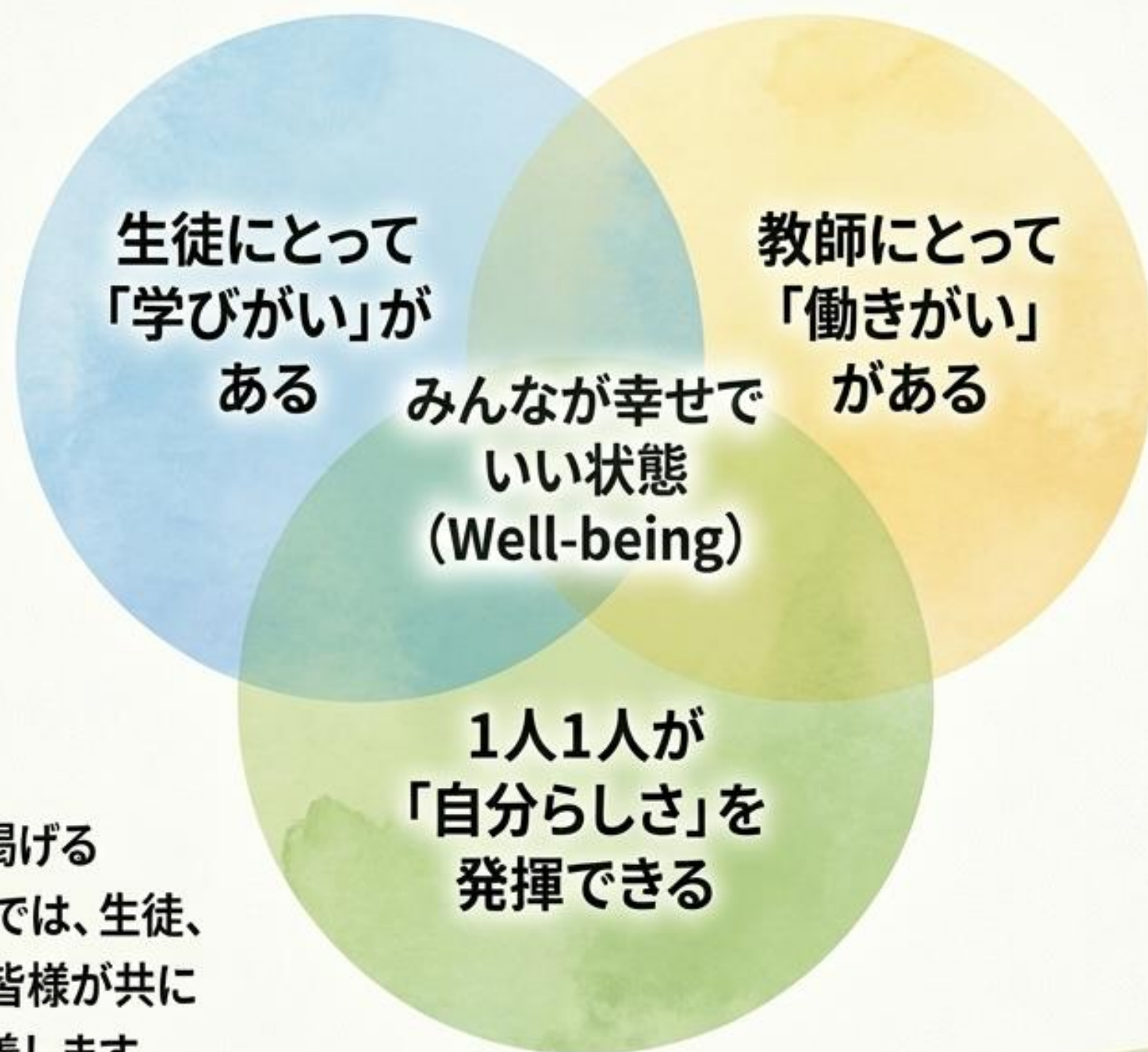
教職員 28名

=

162

名

私たちが目指す「ウェルビーイング」の形



第7次山形県教育振興計画が掲げる「ウェルビーイング」。東根二中では、生徒、教職員、そして保護者・地域の皆様が共に創り上げる「幸せな学校」と定義します。

令和8年度 東根市立第二中学校
学校スローガン



being, doing, growing

「自分らしく」「行(考)動」そして「成長」





「自分らしく」「行動」し、 そして「成長」する

【調和】

他者・自然・文化・伝統を
理解・尊重し、
調和して生きる人

【立志】

知識・技能を高め、
正しく情報を活用し、
志を立てて生きる人

【自律】

他者の力もかりながら、
自分で自分を指導しながら
生きる人



校訓「健康・根気・友情・知性」を土台に、これからの時代を生き抜く「三力一心」を育む。

生徒の「自己決定」を促し、成長を待つ環境づくり



めざす生徒の姿



竹のように、しなやかに強く
(折れない心と柔軟な思考)

めざす教師の姿 (OJL)



声を聞き、
心に寄り添う

今を見て、
支え学び合う

先を生き、
信じて任せる

風を感じ、
地域を愛する

「きく・まつ・はなす・みる」の徹底による深い生徒理解

生徒の活躍が地域の活力になる「安心と信頼の土壌」



地域
(B1)

コミュニティスクール (CS) 2年次。
しろみず会の定着 (年3回開催)。
会議への生徒参加の導入検討。

安全・安心
(B2)

スクールカウンセラー (SC) の
フル活用 (全員面談・講話)、
心のアンケートとNLCの継続実施。
小中連携 (5月後半の3校全員集合、
小6からの生活習慣継続)。

家庭との
信頼
(B3)

保護者の願いを受け止め、
地域・小中が一体となった
連携体制の構築。

生徒の成長を支える全体アーキテクチャ 「7 Pole 3 Base」





学校生活における4つの成長の場



【授業】

思考と対話を
育てる



【行事】

挑戦と協働を
育てる



【日常生活】

規律と自己管
理力を育てる



【人間関係】

共感と倫理観
を育てる

目的意識を持ってステップアップする「8つの成長期」

VIII ゴール期 (2-3月) : 成長の振り返りと春への準備 (目的・段取り・効果・更新のPDCA)

VIII 新体制スタート期 (1-2月) : 入試・立志式、次年度への力蓄え

VI 学習充実期 (11-1月) : 課題克服と学力アップ

V 活動充実期② (9-11月) : 運動会・二中祭の協働と成功

IV リ・スタート期 (8-9月) : 2学期への見通しと再出発

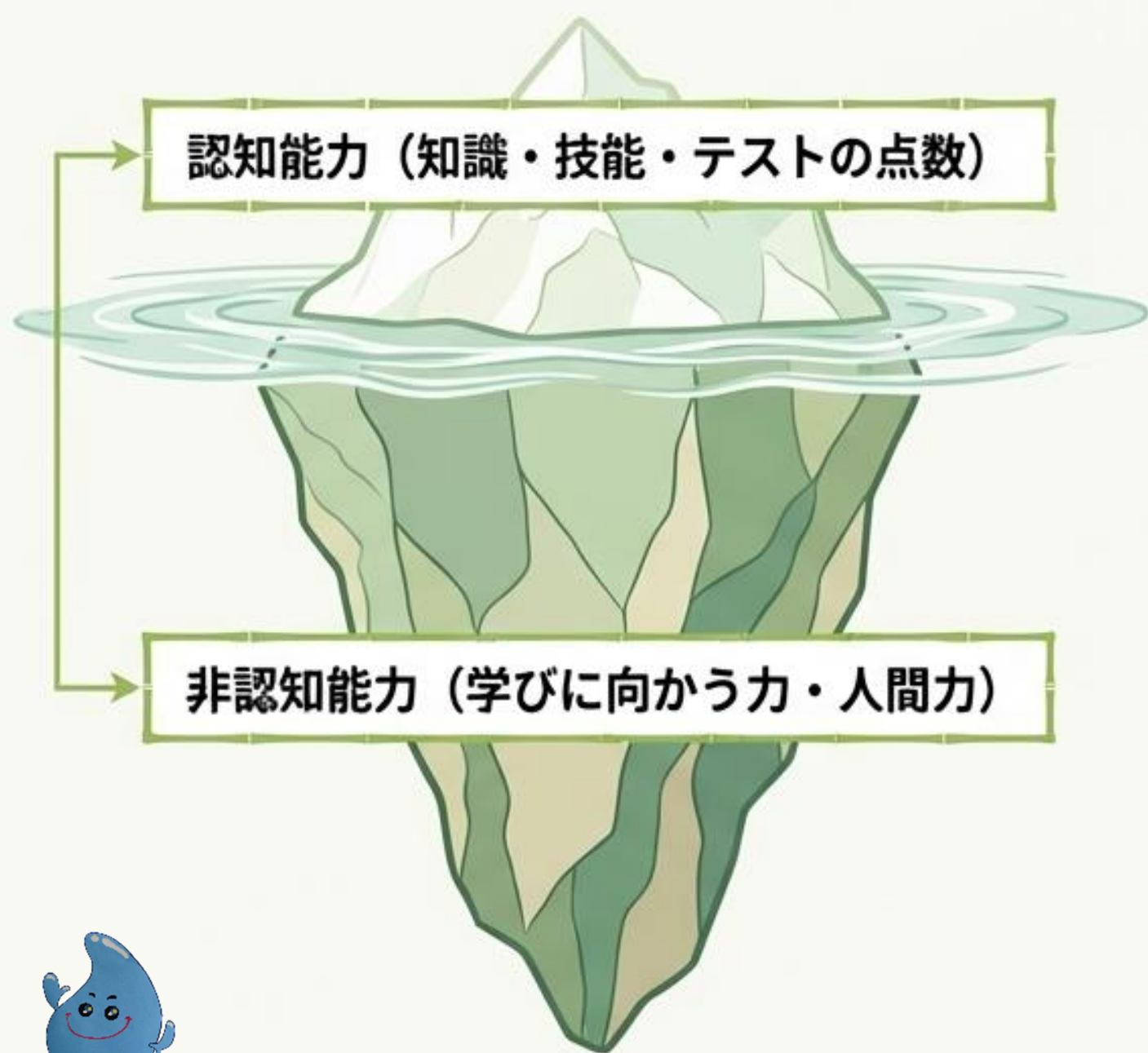
III 個別充実期 (6-8月) : 1学期の振り返りと教育相談

II 活動充実期① (5-6月) : 生徒会・修学旅行へ主体的参加

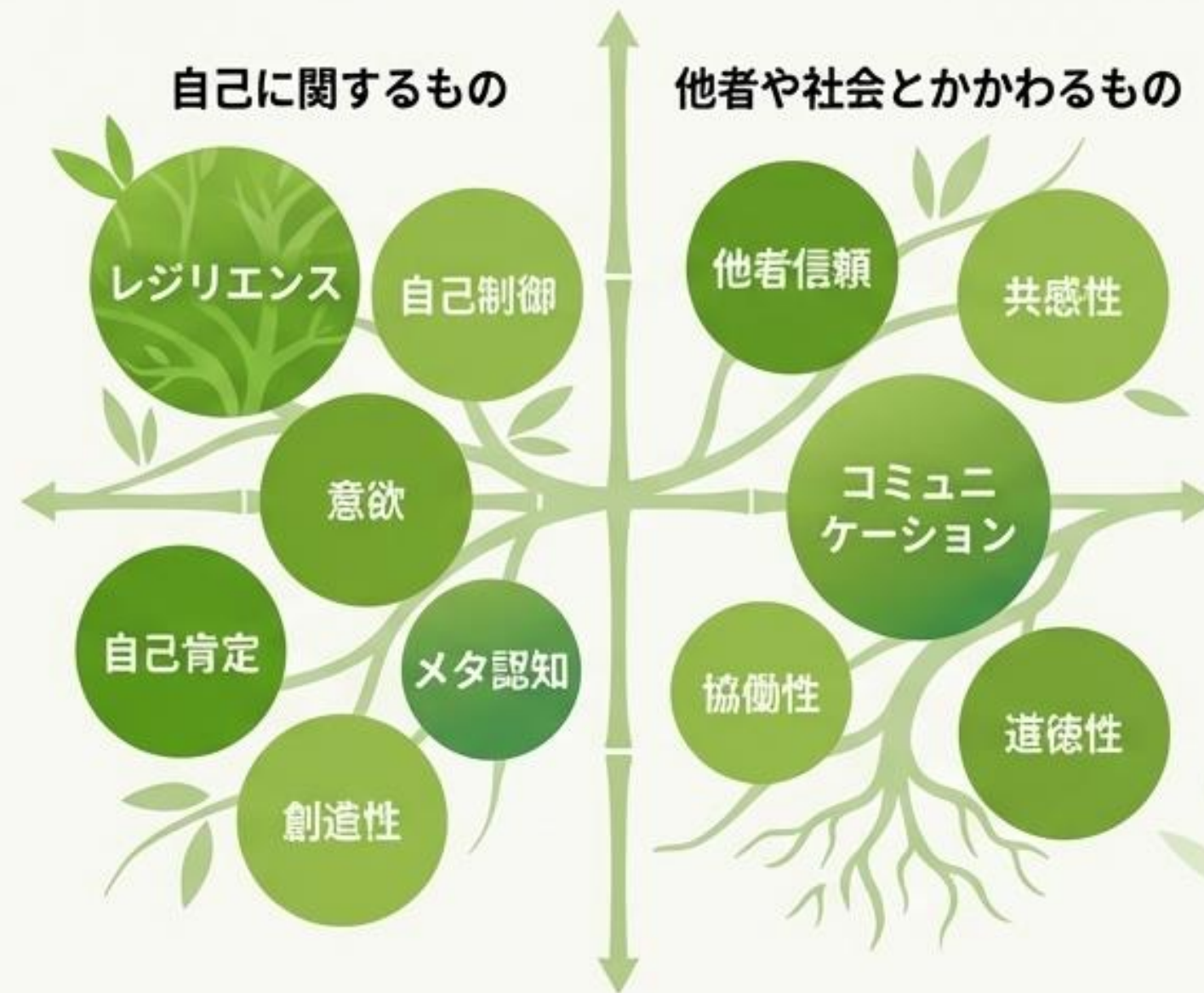
I スタート期 (4-5月) : 目標を持って二中生活を開始



「学ぶ力」の土台となる、見えない力（非認知能力）を育む



非認知能力のマッピング



未来を切り拓く「志教育」と「教育DX」の掛け合わせ



自律の第一歩は生活リズムの固定から。「3点固定」と Nichu Life



学力・気力・体力向上の基本は、生活リズムの固定化です。特に中学生には7時間程度の睡眠確保が不可欠です。曜日によって活動が異なる場合も、曜日ごとのリズムを固定します。



【ツール：Nichu Life (NL)】
二中オリジナルノート「NL」に毎日記録し、必要な学習時間と睡眠時間を自分で確保する「自己管理能力」を養います。
(新入生には小6の2月からシート導入済み)。



教職員の働き方改革とスマートな学校運営（DX化）

通信・アンケートのDX化、AI（校務・授業補助）の積極活用、Web出願チェックシート等の入試データ引継ぎ。

デジタル
シフト

外部人材
の活用

学力向上支援員、スクールサポートスタッフの活用、留守番電話の導入。

時間外勤務1割削減

月1回の「しろみずDAY」継続、会議資料での勤務時間見える化、部活動時間の適正化。

業務の
断捨離

教員の余白を生み出すことが、生徒一人ひとりへの「深い生徒理解（きく・まつ・はなす・みる）」へと繋がります。



部活動改革：より自主的で、質の高い活動への移行

項目		令和8年度以降
加入の前提		完全「任意」
平日の下校時刻		16:50（7月まで）、16:40（8月以降） ※6時間授業時
休日の活動		活動なし
練習の質・連携		スポ少等からの練習メニュー指示や 部活動指導員の積極活用

※保護者会のあり方も実情に応じて見直し（代表者選出のみ等も検討）。

PTA活動のアップデートと、創立70周年への歩み



Next Milestone:
創立70周年

活動のアップデート

- ✓ 慣習のアップデート: PTA歓送迎会の廃止 (R8年度達成)、PTA表彰規定の廃止方針決定。
- ✓ 本質的な参画へ: クエスト発表会等、保護者が学校へ足を運び「生徒の姿」を直接見る機会の意図的設定。資源回収やグラウンド整備への協力体制構築。

創立70周年へ向けて

令和9年(2027年)9月30日の創立70周年に向け、令和8年中に簡易実行委員会(同窓会+PTA三役等)を立ち上げ準備を開始。

学校、家庭、地域で育む豊かな未来

令和8年度チャレンジしたいこと

- ①学校運営協議会の皆様との連携強化
- ②地域の方による学校ボランティアの導入
- ③将来的な『チーム担任制』を見すえた
『学年チーム』体制づくりと研修の推進



※東根二中ホームページ

<https://2nd-jh-higashine.edumap.jp/>

ONE TEAM Nichu — 生徒・教職員・地域の「幸せ創出」へ



自律する生徒 (3点固定・非認知能力)

幸せ創出

持続可能なサポート (働き方改革・PTA共創)



学校運営方針 (7 Pole 3 Base) に基づく新たな教育活動や各種改革は、
すべて「生徒の健やかな成長 (自律)」と「教職員の持続可能性」を両立させるためのものです。竹のように、しなやかに強く。
学校・家庭・地域が一体となり、変化の時代を力強く生き抜く二中学生を共に育てていきましょう。